

事前評価書

		年度	R2
		整理番号	
事業名・路線名等		道路改良事業 一般県道戸畑日田線(戸畑工区) <small>とばたひた とばた</small>	
所在地		事業主体 大分県	
事業概要	事業の目的	・道路幅員の確保による道路機能の向上	
	事業内容	【計画延長・幅員】L=700m(現拡)、W=5.5(7.0)m 【道路区分】第3種第4級 【設計速度】V=40km/h 【計画交通量】2,451台/日(R12) 【現況幅員】現況幅員:3.1~4.0m 【交通量】2,468台/日(H27センサス)	
	事業費	C=540百万円	
事業の実施計画	完成予定年	着手から6年(令和8年度)	
	事業段階毎の実施計画	1年目 測量、設計 2年目 用地測量 3年目 用地買収 4年目 道路工事 5年目 道路工事 6年目 道路工事	
事業の必要性	必要性・緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ・幅員狭小により通行車両の走行性が低く(車道幅員3.1~4.0m)、車両同士のすれ違いが困難 ・玖珠町と日田市を結ぶ一般道の最短ルート、国道210号の代替ルート。 ・玖珠町戸畑地区、日田市石鍋地区の地域住民の生活道路。 	
	整備効果	<ul style="list-style-type: none"> ・幅員狭小の解消による走行性、安全性の向上 ・玖珠町から日田市街地へのアクセス強化及び災害時のリダンダンシーの確保(H28熊本地震、R2.7月豪雨) ・地域住民の生活道路の利便性向上 	
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	幅員狭小区間の解消(一次改築)であり、防災面・交通安全の観点からも評価(参考B/C≒0.5)	
	工法の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路法、道路構造令、河川法、河川管理施設等構造令等に適合した工法を採用 ・複数案の比較検討を行い、最も経済的な現道拡幅案を採用 	
	コスト縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・現道を極力有効活用することでコスト縮減を図る。 ・アスファルトコンクリート、砕石は再生材を利用 	
	環境等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・現道拡幅であり、地形の改変による影響は小さい。 ・発生土は現場内流用、残土については他の公共事業へ流用する。 ・河川の付替えについては、自然環境、景観に配慮する。 ・低騒音・低振動対応の建設機械の使用により、生活環境に配慮する。 	
事業実施環境	事業の実効性	<ul style="list-style-type: none"> ・戸畑日田線整備促進期成会が、整備に向け、毎年総会を開催している。 ・戸畑日田線整備促進期成会から土木建築部長に要望書が提出されている(H30.11) ・玖珠町としても、大分県議会土木建築委員会への市町村要望として毎年要望されており、協力体制は整っている。 	
	事業の成立性	<ul style="list-style-type: none"> ・「安心・活力・発展プラン2015(2020改訂版)」、「おおいた土木未来プラン2015(改訂)」、「大分県長期道路整備計画『おおいたの道構想2015』に基づき事業実施 ・道路法第15条に基づき、安全かつ円滑な交通を確保できる構造とすべく事業を実施 	
	事業の特殊性	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の付替工事については、6~10月は出水期であるため、施工不可 	
対応方針		<ul style="list-style-type: none"> ・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。 	

事業箇所位置図

